

Sustainable Report No.109

老舗銭湯が 地域交流の場に

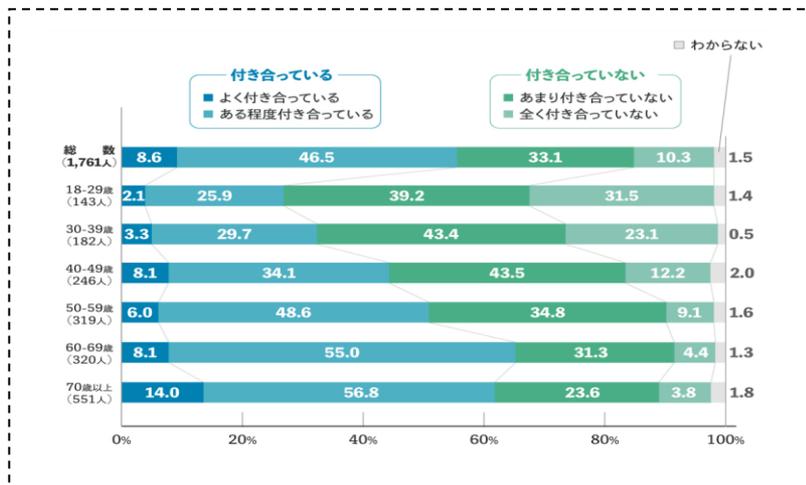


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

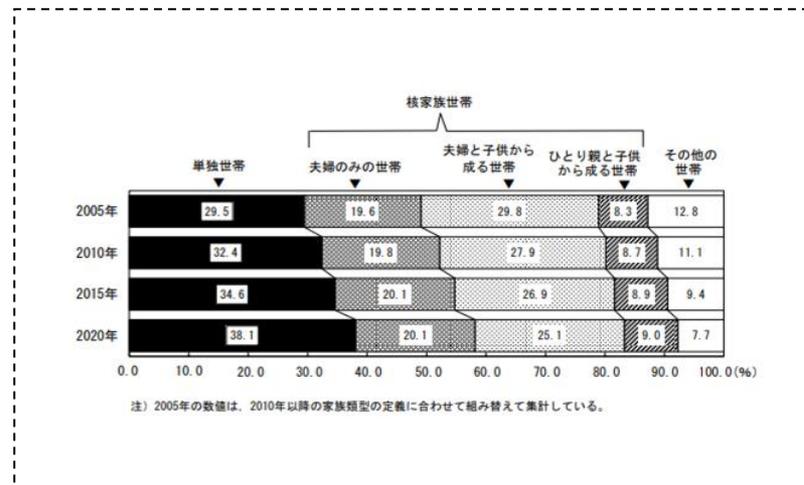
- 厚生労働省は「令和5年版 厚生労働白書」にて、地域における**人々の交流が希薄化している**ことを示した。形式的な付き合いを望む人が増えてきており、孤独・孤立が顕在化している。
- **単独世帯の割合は2020年に38.1%**で、2005年の29.5%から増加。住宅は長屋やアパートから高層住宅に変化したことで、近隣住民との親睦機会が減少したと考えられる。
- 近隣住民が声をかけ合い相互に支え合う関係が失われ、**社会の犯罪抑止機能の低下**が生じる。

■ 現在の地域での付き合いの程度



出典：内閣府を元にRidilover Journal作成

■ 一般世帯の家族類型別割合の推移



出典：総務省統計局

▶NEXT：老舗銭湯と老朽化したアパートが地域交流の場へ

■ 実行者／解決方法／残る課題

- **東京都杉並区高円寺の銭湯「小杉湯」**は、昭和8年に創業し、国の有形文化財にも登録されている。銭湯関連施設の企画運営を行う株式会社銭湯ぐらしと共同で、**銭湯のあるくらしの体験を提供**。
- 銭湯の隣にある**老朽化したアパートをシェアスペースとして再生**し2020年3月に「小杉湯となり」をオープン。銭湯の帰りに食事や読書、仕事ができ、まちの縁側のように使われている。
- **行くことが必要不可欠なもの組み合わせる**ことで、多くの人との繋がりが期待できるのではないか。

■ 「小杉湯」外観



出典：小杉湯

■ 人が集まる「小杉湯となり」



出典：小杉湯となり

▶ NEXT : 「健康増進」に着目して新たな地域との繋がりへ

■ 弊害の原因／理想／企業施策

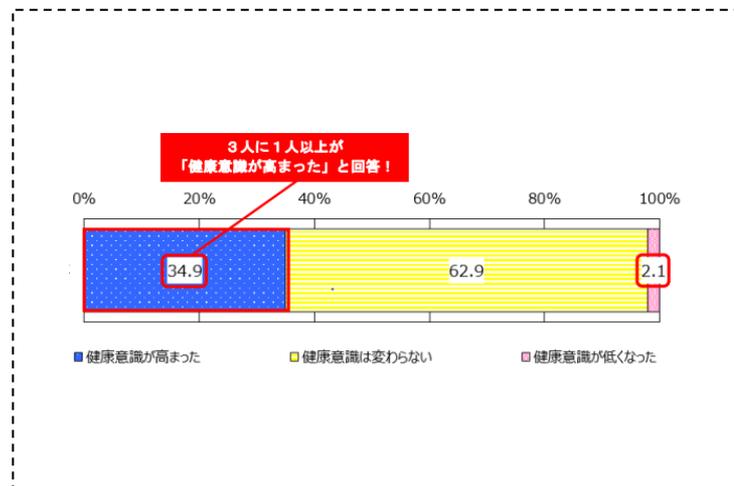
- 銭湯に行く習慣がない人にとっては、**必要に迫られないと行く機会を作れない**のではないかと。
- 地域内に、**老若男女問わず憩いの場が提供し続けられる**ことが理想である。
- 銭湯が持つ「健康増進」の機能に着目し、**医療モールや医療機関を銭湯と組み合わせ**て保健室のような役割を持たせ、経営を維持しながら新たに地域と繋がれる場となることが期待される。

■ 銭湯・公衆浴場の利用頻度



出典：日本能率協会総合研究所

■ コロナ禍と比べた健康に対する意識の変化



出典：明治安田生命保険相互会社

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 総務省統計局, 「令和2年国勢調査 人口等基本集計結果」, 2021年11月30日
(https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka/pdf/outline_01.pdf)
- 厚生労働省, 「厚生労働白書」, 2023年8月1日 (<https://www.mhlw.go.jp/content/001124666.pdf>)
- 株式会社Ridilover, 「【若者の孤独孤立】つながり無き自立の壁」, 2023年11月3日更新 (<https://journal.ridilover.jp/topics/1f8377a8d5e1>)
- 小杉湯, 「営業・施設案内」, 2023年11月22日参照 (<https://kosugiyu.co.jp/facility/>)
- 小杉湯となりホームページ, 2023年11月22日参照(<https://kosugiyu-tonari.com/>)
- 株式会社銭湯ぐらし, 「“銭湯のある暮らし”を体験できる新施設「小杉湯となり」を2020年春にオープン」, 2019年11月26日
(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000038346.html>)
- 日本能率協会総合研究所 「消費者動向 銭湯、公衆浴場編」 2023年12月1日(<https://www.jmar-llg.jp/seiei/data/consreport2021bath.pdf>)
- 明治安田生命保険相互会社, 「明治安田生命「健康」に関するアンケート調査を実施 コロナ5類移行に伴う社会の変化が身体と心の健康に大きく影響！ “コロナ太り”はピークアウト！人とのつながりや飲み会はストレス？ 物価高は健康づくりにも影響！」, 2023年9月6日
(https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2023/pdf/20230906_01.pdf)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。